

取付説明書 マルチカメラ接続アダプター

MULTI CAMERA ADAPTER MCA037T

本製品は、トヨタ車メーカーオプションのフロントカメラ、リアカメラを市販のモニター(ナビゲーション)に接続するためのアダプターです。

【重要】取り付け前に

- 本製品を取り付けるためには、別売品の当社製マルチカメラスイッチャー(CSW298)が必要です。別途ご用意ください。
- 一部車種は、フロントカメラが特殊なために映像が乱れ、純正ナビに表示されていた映像とは異なる表示となります。該当する車種は最新適合表でご確認ください。

内容物一覧(取り付け前に必ずご確認ください)

- マルチカメラ接続アダプター(ハーネス) ×1
- オス→メス変換アダプター ×2
- 結束バンド ×2
- オスギボシ&スリーブ ×各1
- メスギボシ&スリーブ ×各1
- エレクトロタップ ×1
- 取付/取扱説明書(本書) ×1

注意事項の定義について

注意事項は「**▲危険**」、「**▲注意**」、「**●警告**」、「**●重要**」に区分しており、それぞれ次の意味をあらわします。

▲危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
▲注意	守らないと、車両および製品を破損、または故障させるおそれがあるもの
●警告	守らないと、法律に違反するおそれがあるもの
●重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

注意事項

▲危険

- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
- シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。

▲注意

- 本製品の取り付けには、専門知識が必要です。製品の取り付けは販売店または整備工場などにご依頼ください。
- 本製品の取り付け前に、ディスクなどのメディア類はすべてユニットから取り出してください。
- 本製品取り付けの際、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって機器が故障するおそれがあります。
- コネクタを外す際は、コネクタの抜け防止爪をしっかりと押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクタを無理に引っ張ると、コネクタやユニットが破損する恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、奥まで(カチッと音がするまで)確実に差し込んでください。
- 配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こすおそれがあります。
- 必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクタの接触不良や、配線が断線するおそれがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線などの原因となります。

●重要

- 本製品に市販のカメラは取り付けできません。
- バッテリーのマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法は機器の取扱説明書をご参照ください。
- 取り付けモニター(ナビゲーション)にリアカメラ入力端子(ピンジャック)があることを確認してください。
- 配線やケーブルの長さが足りない場合は、延長用の配線やピン端子ケーブルを別途ご用意ください。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。
- カメラ類を点検・修理に出す際は、必ず本製品を取り外してください。アフターパーツ類(本製品を含む)を取り付けている場合、メーカー保証の対象外となることがあります。

ご相談窓口

サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442 [受付時間]月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC)
<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)
<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム

<https://www.datasystem.co.jp/>

■[本社]東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社]岡山県倉敷市神田1-1-11

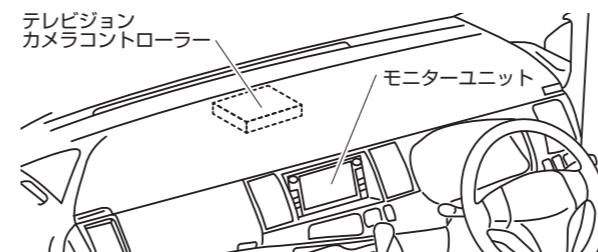
本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

テレビジョンカメラコントローラー位置一覧

●アイシス

ANM10・15/ZNM10 H16.10～H17.11

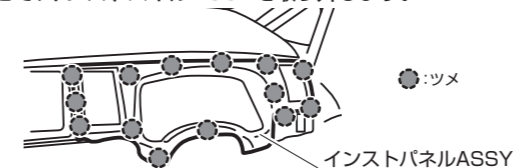
テレビジョンカメラコントローラー位置:モニターユニット奥



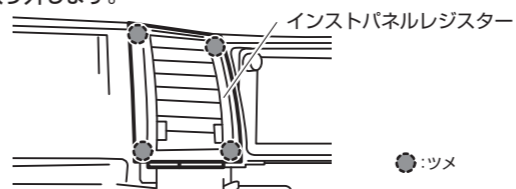
1. リムーバーを使用して、インストパネルCRTを取り外します。



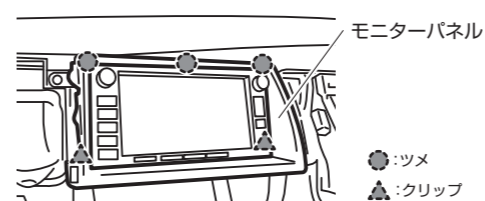
2. ツメを浮かせて、インストパネルASSYを取り外します。



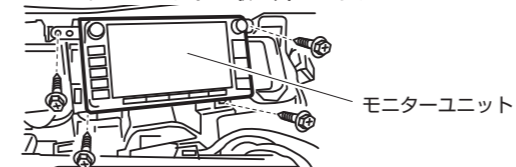
3. ツメを浮かせて、インストパネルレジスター(モニター左のエアコン吹出口)を取り外します。



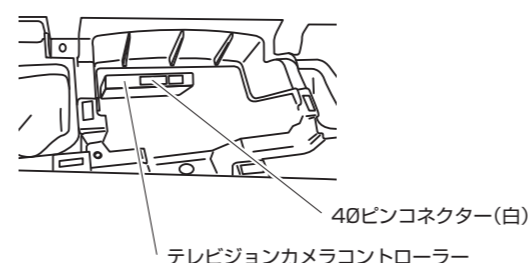
4. ツメ、クリップを浮かせて、モニターパネルを取り外します。



5. ボルトを外して、モニターユニットを取り外します。



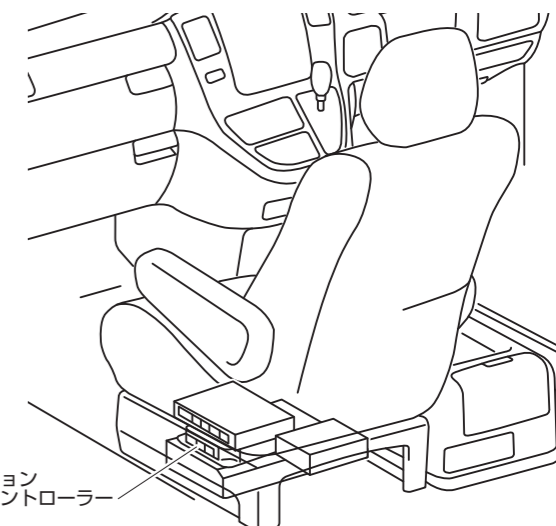
6. モニターユニット取り付け位置の奥にある、テレビジョンカメラコントローラーの40ピンコネクタを探し、本製品を割り込ませます。



●アルファード

ANH10・15/MNH10・15 H15.8～H17.4

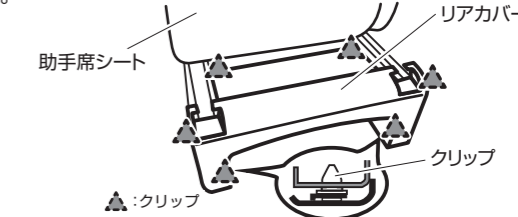
テレビジョンカメラコントローラー位置:助手席シート下



1. バッテリーのマイナス端子を外します。

2. 助手席シートを前方へスライドさせます。

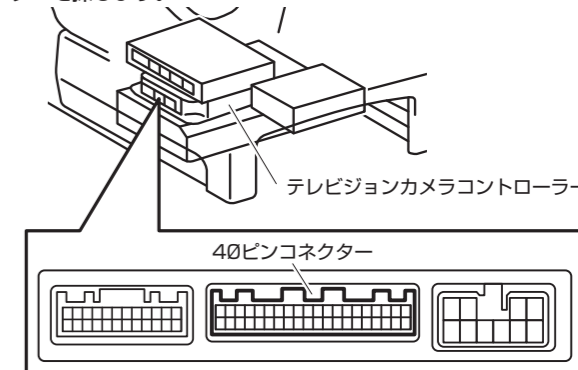
3. 助手席シート下のクリップ(6カ所)を外し、リアカバーを取り外します。



4. 助手席シート下のクリップ(2カ所)を外し、フロントカバーを取り外します。



5. 助手席下にあるテレビジョンカメラコントローラーの40ピンコネクタを探します。

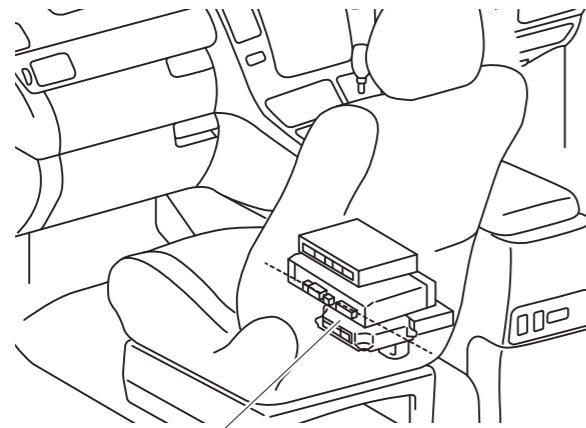


テレビジョンカメラコントローラー位置一覧

●アルファードハイブリッド

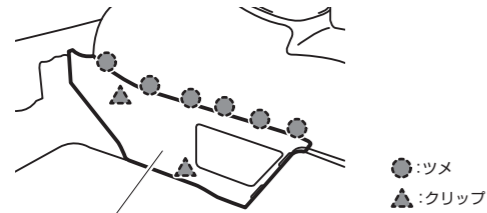
ATH10 H15.7~H17.4

テレビジョンカメラコントローラー位置:センターコンソールボックス内



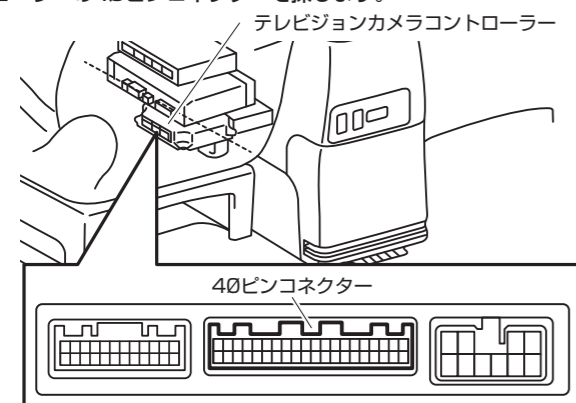
テレビジョン
カメラコントローラー

1. バッテリーのマイナス端子を外します。
2. 助手席シートを後方へスライドさせます。
3. 助手席側のコンソールボックスパネルを取り外します。



助手席側コンソールボックスパネル

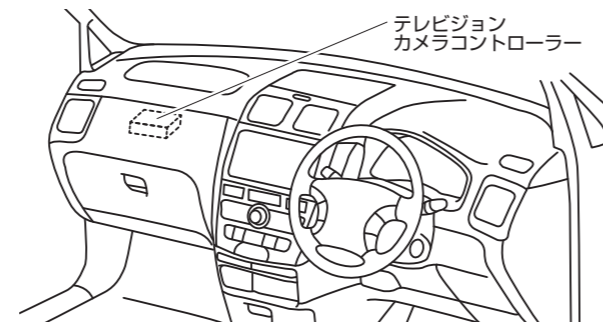
4. センターコンソールボックス内にある、テレビジョンカメラコントローラーの40ピンコネクターを探します。



●イプサム

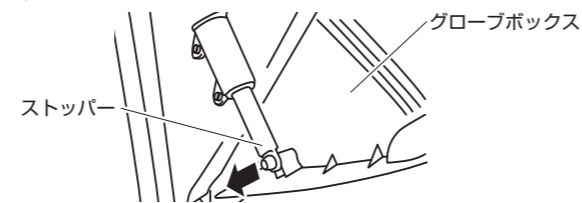
ACM21・26 H15.10~H21.12

テレビジョンカメラコントローラー位置:グローブボックス上部

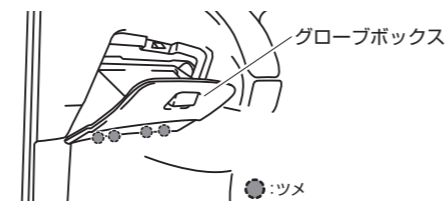


テレビジョン
カメラコントローラー

1. グローブボックス横のストッパーをグローブボックスから取り外します。



2. グローブボックス下のツメを浮かせ、グローブボックスを取り外します。

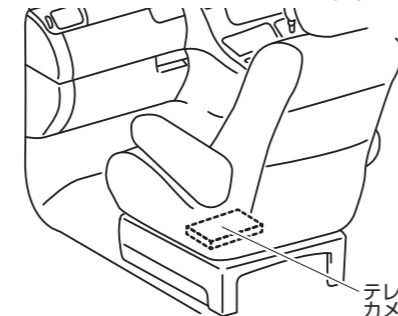


3. 助手席下から見上げて、テレビジョンカメラコントローラーを探します。

●ヴォクシー/ノア

AZR60G・65G H16.9~H17.7

テレビジョンカメラコントローラー位置:助手席シート下



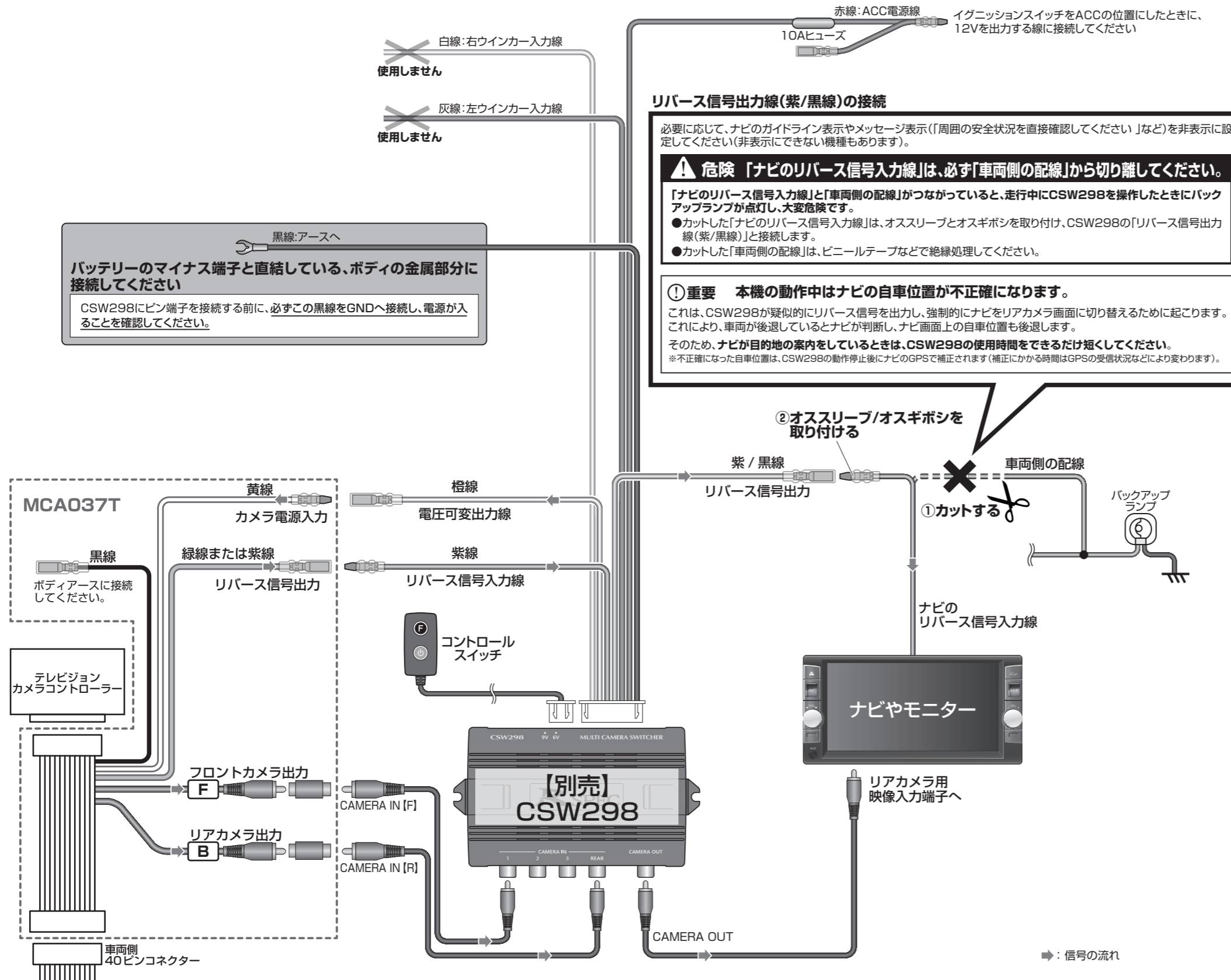
テレビジョン
カメラコントローラー

取り付け方法

本書は次の3点を前提にして説明しています。

- メーカーオプションナビゲーションを取り外して新しいモニター(ナビゲーション)が取り付けられていること。
- 当社製マルチカメラスイッチャー(CSW298)が取り付けられていること。

- 重要**
- 配線やケーブルの長さが足りない場合は、延長用の配線やピン端子ケーブルを別途ご用意ください。
 - 本製品を取り付ける際は、当社製マルチカメラスイッチャー(CSW298)の取付説明書も併せてご参照ください。



1. CSW298の電圧切り替えスイッチを「6V」に設定してください。それ以外の電圧に設定した場合、純正カメラが故障するおそれがあります。

2. バッテリーのマイナス端子を外して、6分間待ちます。

3. テレビジョンカメラコントローラーを探し、40ピンコネクターに本製品を割り込ませます。
⇒参照「テレビジョンカメラコントローラー位置一覧」

4. 本製品のカメラ出力端子(フロント[F]/リア[B])をCSW298のカメラ入力端子に接続します。

- ※使用しないカメラ出力端子は、テープで絶縁処理してください。
- ※カメラが非装着の場合は、ケーブルを接続しても映像は出力されません。

5. 本製品の黄線を、CSW298の電圧可変出力線(オレンジ線)に接続します。



6. 本製品の緑線または紫線を、CSW298のリバーシ信号入力線(紫線)に接続します。



7. 本製品の黒線を、ボディアースに接続します。

8. リバーシ信号出力線を接続します。

9. ナビやCSW298が動作する状態まで復元して、バッテリーのマイナス端子を接続します。

10. CSW298を動作させて、接続したカメラの映像が表示されるか確認します。

11. コード類を取り回し、取り外したパネル類を元に戻して取り付け作業は終了です。